

## 令和5年度 第1回 政策調整会議 会議録①

- 
- ◆開催日時：令和5年5月9日（火） 10：00～10：20
  - ◆開催場所：第2委員会室
  - ◆出席委員：堤副市長、大下教育長、西川総合政策部長、残総務部長、寺本財務部長
  - ◆説明者：櫻井IT推進課長、林主幹(DX推進担当)
- 

### ◆審議事項

行政DX推進委員会の設置について・・・・・・・・・・・・・・・・・・IT推進課⇒承認

---

### ◆審議概要

- ◎付議依頼書等に基づき説明
- ◎説明後、質疑応答

〈堤副市長〉行政DX推進計画は年内に策定し、来年度予算に反映できるよう努めること。

行政DXとスマートシティは、対象である市民は同じなので、相互に連携していくこと。行政DXを進めることでキャッシュレス等都市全体のスマートシティ化を一気に推進させられる。

行政DXは、ペーパーレスを含む脱炭素化が基本の考え方。高齢者等市民が庁舎に来るという“移動”がなくなることにも意味がある。

市役所がDX化しても、市民一人ひとりが利用できなければ意味がない。「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」をめざし、市民のリテラシー向上にも配慮されたい。

ChatGPTやBing、Bardといった対話型AI等便利なものが出てきている。既に導入されているLoGoフォームやLoGoチャットも含め、職員が活用していく中で、個人情報の取扱いや著作権の問題など配慮すべき点について、「ガイドライン」の策定等を検討すること。

〈教育長〉行政DX推進委員会の所掌事務に、「既存情報システムの基本機能の仕様変更（軽易な変更除く）に関する事項」とあるが、「軽易な変更」の場合はどうするのか。

〈IT推進課長〉軽易な変更は、法改正等の影響を受けて行わざるを得ない改修を想定している。これに関しては委員会に諮るのではなく、IT推進課がベンダーと調整していく予定。

〈教育長〉政策決定会議での承認を受け、既存組織を一本化した本委員会が設立された場合、既存組織の廃止手続はどのように行うのか。

〈林主幹〉行政DX推進委員会を設置する庁達の附則で規定する予定。

〈財務部長〉新たに立ち上げる行政DX推進委員会の所掌事務として、「情報セキュリティポリシーの策定、改定、運用、普及、教育に関すること」とある。適正な運用を図っていくことは当然のことで、個人情報の漏洩等には十分に留意しながら、計画策定の上で委員会に諮られたい。「DX」は既に広まった言葉であるが、全員が内容を理解しているかは疑問。職員に最低限の知識が備わるよう留意しながら進めてほしい。新たな行財政改

革プランにおいても、DX 推進が大きなポイントとなるため、ぜひ配慮し進めてもらいたい。

〈IT 推進課長〉 職員のリテラシーの向上については、職員研修を検討している。市民のリテラシーについては、企画課においてスマートフォンの講座を実施している部分もあり、スマートシティ構想との連携を図りながら進めていきたい。

〈総務部長〉 ChatGPT 等については、個人情報はもちろん、機密情報についても取扱いは十分に気をつけるよう周知が必要だと思っている。

〈IT 推進課長〉 ChatGPT 等の利用に係る注意点の職員への周知は近日中に行う予定。

〈堤副市長〉 他の自治体では、個人のスマートフォンで ChatGPT 等を使用しているところもあると聞いている。また、大阪府では1人1台のノートパソコンがあり、さらに今後タブレットに変えていこうという動きがある。個人のスマートフォンとの関係など、市としてこれからどうしていくのか議論しておいてほしい。

〈IT 推進課長〉 タブレットはセキュリティと強く関連するところ。物理的な環境整備については、業務の内容や場所、財源等を踏まえ、新庁舎も見据え検討していきたい。また、職員のモラルについても非常に強く関わる場所。便利にすればするほど、セキュリティの穴を抜けて使用する職員が出てくる可能性が考えられるので、その辺りの整備もしっかり行いたい。

〈総合政策部長〉 行政 DX 推進委員会は、既存の3つの委員会を統合する形だが、既存委員会の所掌事項をすべて網羅するものだという理解でよいか。

〈IT 推進課長〉 よい。

〈総合政策部長〉 本案件について、原案のとおり、政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり承認し、政策決定会議に付議する。

### 政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総務部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

#### 記

付議事項名	行政DX推進委員会の設置について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	行政DX推進計画の策定及び行政DX推進していく必要があり、情報システム委員会、情報セキュリティ委員会、情報化推進委員会を整理統合し、政策決定会議における専門委員会として、行政DX推進委員会を設置する。
説明者	櫻井IT推進課長 林主幹
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和5年度 第2回会議
付議事項	行政DX推進委員会の設置について

★取組の目的

対象	庁内
どのような状態を目指す	デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていく。

★総合計画上の位置付け

<b>6020205</b>	基本目標	みんなで作る持続可能なまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)シート」を参照)	個別目標	持続可能で信頼される行政になっている
	個別目標の方向性	② 適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める
	行政の役割	ICTを活用し、効率的に事務を行う

★現状と課題

限られた予算の中、組織の壁を越えて、行政のDXを推進するためには、効果的な推進体制の構築が不可欠である。しかしながら、現在、情報システム委員会、情報セキュリティ委員会、情報化推進委員会があり、行政DX案件でそれぞれ委員会での決定が必要となった場合、意思決定が非常に効率的でない。効果的な推進体制とするため整理統合が必要である。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
DX外部デジタル人材活用			2,400	1,200	1,200				
RPAライセンス・研修			1,518	1,518	1,518	1,518	1,518	1,518	
ノーコードツール導入・伴走支援			5,165	5,165	5,165	5,165	5,165	5,165	
汎用電子申請サービス			2,144	2,144	2,144	2,144	2,144	2,144	
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源			11,227	10,027	10,027	8,827	8,827	8,827
	その他								
事業費			計	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
			<b>46,535</b>	10,027	10,027	8,827	8,827	8,827	

★当該事項に関連する人員増の必要性\*

人員増の必要性	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度	目標値				
					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
① 行政DX推進委員会・作業部会開催回数	回			3	2	2	2	2	2
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。